

令和7年度鳥取県経済同友会定時総会開催

- 1 日時 令和7年6月6日（金）15:00～
- 2 場所 ANAクラウンプラザホテル米子
- 3 出席者 会員等 56名
- 4 定時総会

令和7年度鳥取県経済同友会定時総会を6月6日（金）に米子市で開催しました。

秦野博行総務委員長の進行により開会し、細田耕治代表幹事が開会挨拶をされました。議長は細田代表幹事が務め、第1号議案 令和6年度事業報告及び同収支予算について、第2号議案 令和7年度事業計画及び同収支予算について、第3号議案 役員改選について、それぞれ、事務局から議案の説明、質疑、採決が行われました。提案された3議案は、すべて承認されました。

総会に合わせて開催した幹事会で、令和7年度、8年度の役職を決定しました。顧問に松村順史氏（重任）、代表幹事に米原正明氏（重任）、細田耕治氏（重任）。重任の副代表幹事は、井上法雄氏、吉岡 徹氏、加藤典裕氏、坂口吉平氏、豊嶋文章氏、宮永誠治氏、廣田和幸氏、福井利明氏、新任の副代表幹事に、水野治郎氏、野津健市氏、その他、常任幹事47名、幹事35名、監事6名をそれぞれ選出しました。

5 ゲスト講演

総会に続き行われた講演会では、国立大学法人鳥取大学学長 原田 省氏を講師にお招きし、「鳥取大学の現状とこれからの取り組み」と題して、ご講演いただきました。原田学長は、大学の経営が厳しいが学生にさらに負担を求める学費の値上げは避けたいこと、



【細田代表幹事挨拶】



【総会の様子】



【原田学長の講演】

我が国の未来を創り出す人材の育成が国立大学の使命であること、先進国の論文数に比べて日本の論文数は少なく主な原因は国立大学の研究力の衰退にあること、大学卒業生を県内就職へ導く新たな仕組みの必要性であること、などを分かりやすく話されました。

6 懇親会

懇親会は、廣田和幸副代表幹事の開宴の挨拶、乾杯の発声により始まりました。

鳥取県経済同友会は、東部地区、中部地区、西部地区のそれぞれが活動することが基本となっていることから、総会を機に各地区から集まった会員は、情報交換等により、にぎやかな懇親会となりました。



【廣田副代表幹事の乾杯】